

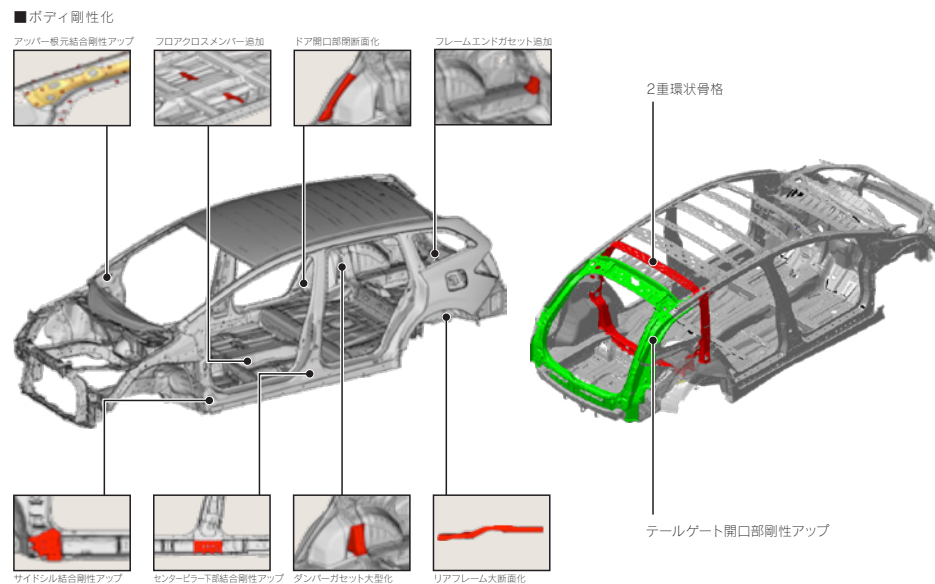
クルマに求められる要素を 高次元でバランスさせた基本骨格。

ジェイドでは、走る、曲がる、止まるという基本性能を磨き上げるとともに、居住性や静粛性、取り回し視界など、すべてを高次元でバランスさせることを追求。めざしたのは、「スムーズな骨格」。稜線や断面中心の折れを徹底的に排除するとともに、リアの強度を確保する2重環状骨格を採用するなど、骨格全体で荷重分担をするボディを造り上げました。



優れた操作フィール、しなやかな乗り心地を生む高度なボディ剛性。

セダン並の操縦時の安定感と乗り心地を実現するために、ボディ変形をコンピューターで綿密に解析。さらに試乗によるフィーリング評価とすり合わせ、最も効果的かつ効率的なボディ剛性の在り方を追求しました。その結果、各部板厚の最適化や、多角形断面形状部材の採用、結合強度の向上などにより、高剛性ボディを効率よく形成。さらに、リアに大きな開口部を持つワゴンタイプボディの特性を考慮し、大断面部材をメインとした強固な環状骨格を2重で構築。リアダンパー取り付け点の強度を確保することで、安定性と応答性を高め、的確なリアの追従性を獲得しています。



徹底した対策によりクラスを超えた静粛性を実現。

日常からロングドライブまで音ストレスを感じない上質な静粛性を実現するために、振源・音源のレベル低減という根本課題から、全方位にわたる取り組みを行いました。

- 振源・音源のレベル改善
エンジンマウントの最適化やボディ骨格、フロアパネルの剛性コントロールなどにより、入力低減シャシー&ボディシステムを構築。専用タイヤやノイズリデュースアルミホイールの採用でロードノイズを低減。
- 風切音・環境騒音の車室内侵入の最小化
遮音膜入りフロントガラスの採用などにより、風切音や街頭の音楽などの環境騒音の侵入を最小化。
- 放射音・風切音の車室内侵入の最小化
ドアアールシールなど、音源に近い部分にシールを追加。音侵入低減ドアシステムにより、ドア周りからの音の侵入を最小化。
- 吸音材・遮音材の適材適所配置
各種インシュレーターなど吸音材・遮音材を各部に配置し、効果的な音の減衰・吸収を実現。
- 伝達音・放射音の車室内侵入の最小化
音が侵入しにくいボディ構造（音侵入低減ボディシステム）を追求。骨格断面（フレーム）内セパレーターや吸音タイプフロアカーペットなどにより音の侵入を最小化。



ロードノイズを低減する17インチノイズリデュースアルミホイール。

中空構造のレゾネーター（消音装置）を、ホイールを取り巻くように装着したノイズリデュースアルミホイールを採用。高速道路のつなぎ目を越える際や、粗い路面を走行する際などにタイヤの内部で発生する不快な共鳴音を、打ち消す効果によって抑制します。



17インチノイズリデュースアルミホイール (HYBRID X)